

総合計画／実施計画書 兼 事業評価シート

評価対象年度 H19 年度

評価実施年度 H20 年度

担当部局	部局名	保健福祉部
	課室名	介護保険課

6. 前年度の事業評価					評価に関する視点	
事業の 必要性	1 2 3 4 5 低い ← → 高い	評価	5	時代や市民ニーズの変化への対応、事業目的の緊急性、重要性、さらには他の自治体の動向等を踏まえて評価する。		
理由	高齢者が長年住み慣れた地域で安心して在宅生活を継続できるよう支援する方策として、本事業は有益である。					
行政の 関与	1 2 3 4 5 不要 ← → 必要	評価	3	この事業は行政が実施しなければならない事業なのか、民間でサービスを提供できないのか等、民間との役割分担を考慮して評価する。		
理由	申請受付、利用決定、委託事業者の決定は行政が実施し、食事の提供及び安否確認は外部委託により実施している。					
手段の 妥当性	1 2 3 4 5 低い ← → 高い	評価	5	行政がこの事業を行うこととした場合、事業実施の方法は妥当か、効率的な方法なのか等、外部委託や受益者負担等を含めて評価する。		
理由	上記のとおり、一部を除き外部委託により本事業を実施しており、妥当である。					
事業の 効果	1 2 3 4 5 低い ← → 高い	評価	5	事業の効果は上がっているのか、事業は効率的に実施できたのか、事業経費は事業実績と比べてどうか等、費用対効果も含めて評価する。		
理由	高齢者が本事業を利用することにより在宅生活を継続できるため。					
事業の 算	1 2 3 4 5 減額 ← → 増額	評価	5	全ての行政経費の削減が求められる中で、予算を減額できないか、できないのであればその理由はなぜか等、事業経費の面について評価する。		
理由	高齢者数の増加に伴い、本事業の利用希望者は増加傾向にあるため、予算減額は困難である。事業経費が増加しても、配食サービスの利用により高齢者の在宅生活の維持が可能となり、施設入所者数を抑制できるため、介護保険給付費を抑制することができる。					
人 体 員 制	1 2 3 4 5 減員 ← → 増員	評価	3	事業経費と同様、職員全体を削減せざるを得ない状況の中で、組織の見直し、グループ制の活用、外部委託等の様々な手法を含めて評価する。		
理由	本事業は一部を除き外部委託により実施しているが、その他の事務は兼任事務で行なっているため。					
事業 規模	A B C D E F 廃止 終了 統合 縮小 維持 拡大	評価	E	今後の事業規模の方向性について、事業の必要性、緊急性、事業経費や担当職員数の増減等を検討し、社会情勢や市民生活への影響等も十分考慮した上で、事業全体としてどのような方向へ進めていくのかを総合的に判断する。		
理由	今後、高齢者数の増加に伴い、配食サービスの需要が高まることが予測されるため、本事業を維持し、継続していくことが必要である。					
その他、特記事項		事業の内容や事業規模に関する意見、補足説明、事業改善の方向性等、特記すべき事項を記載する。				
・ 1食あたりの事業費／710円 利用者負担：ごはん／50円、おかず／300円、お汁／50円（食材料費及び調理費の実費相当額を事業者に支払う。） 委託料：310円／1食 【課題】 ・ へき地への配食が困難な状況にあるため、配食事業者との調整が必要である。						
部 長		課 長		班 長		担当者
						内線 2132 E-mail @bungo-ohno.jp